

＜学校経営基本方針＞

夢を育み、元気あふれる津田小学校 ～すべては子ども達のために～

＜学校教育目標＞

一人一人の個性の伸長を図り、よく考え、明るく、たくましい、人間性豊かな児童を育成する

＜めざす教師像＞

- ◇熱意と使命感にあふれる教師
- ◇常に児童と共にある教師
- ◇常に研磨し、指導力を高める教師

＜めざす児童像＞

- ◇自分で考え、進んで学ぶ子
- ◇明るく、思いやりのある子
- ◇元気で、たくましい子

＜めざす学校像＞

- ◇児童と教師が共に学ぶ学校
- ◇存在感、信頼感、充実感のある活力ある学校
- ◇家庭・地域から信頼される開かれた学校

学 力 づ く り	心 づ く り	体 づ く り
授業改善を推進し、児童の学習意欲を喚起し、確かな学力の向上を図る。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ・明確なめあての提示 【本時のめあてが分かる95%】 ・学習意欲の喚起 ・主体的な授業への参加 【魅力ある学校づくりアンケート 80%】 ・効果的な話し合いの場の設定 ・ノートを活用 ・ICTの活用 ・学習の振り返り 【自己評価 毎時間】 ○基礎的・基本的な学習内容の確実な習得 ・ミニテスト・確認テストの効果的な活用 ・家庭学習の習慣化 【家庭学習実施率95%】 ○読書活動の充実 ・読書環境の整備 ・積極的な読書活動 【読書 50冊以上 100%】	望ましい学級集団づくりをし、児童が一人一人の違いを認め合える関係性を築く。 ○望ましい学級集団づくり ・基本的な生活習慣づくり 【津田のよい子(よい子のやくそく) 90%】 ・QU, SST, SGEを活用した児童一人一人の理解と人間関係づくり 【仲間はずれ0・いじめ0】 ・自己実現しようとする意欲の高揚 ・他者へのおもいやりの高揚 ・「自分からあいさつの奨励」 ○特別活動の充実 ・異年齢集団による交流活動の実施 【年間5回以上】 ・学校行事での体験的な活動 ○道徳教育の重視 ・「特別の教科 道徳」を要とした家庭や地域社会との共通理解や相互連携 ・他者との共生や異なるものへの寛容さをもつ	危険を予測し、回避する力を付けることで、心身の健康増進を図る。 ○危機回避能力の育成 ・危険を想定したマニュアルの作成と共通理解 ・身の回りの危険を見つける ・予防や防止に努め、より安全な生活を実現する 【ヘルメットの着用率100%】 ○専門家を活用した授業実践 ・避難訓練 ・交通安全教室 ・情報モラル ・薬物乱用防止教育 ・がん予防教育 ・人権教育教室 等 ○健康の維持増進 ・体育授業の工夫・改善 【体力づくりA+B 55%】 ・早寝・早起き・朝ごはんの推進 ・柔軟運動の奨励 【朝食の摂取率100%】 【年間30日以上欠席0】 【治療勧告者治療率80%】

豊かな人間性と指導力のある教職員の育成

- 服務規律の確保に向けた取組
 - ・何でも話せる教職員間の人間関係作り
 - ・3ない運動（体罰、飲酒運転、セクハラ）+2（金銭管理、個人情報）の意識化
 - ・ボトムアップ型の研修による服務遵守意識の醸成
 【ボトムアップ型の研修 年8回以上実施】
- 教職員の育成
 - ・教員評価を活用した資質・能力の向上と組織の活性化
 - ・魅力ある学校づくりの推進と自己啓発
 - ・業務の効率化（定時退勤日の広報、会議の時間短縮）
 【毎週最低一日 17:00 退勤の実施】

開かれた学校づくり

- 学校・地域・家庭との連携の推進
 - ・小中・小小・保幼小連携
 - ・防犯パトロール隊との情報共有
 【防犯パトロール連絡協議会の実施 年3回】
 - ・地域活動への積極的な参加と情報の相互発信
 【学校だより等の発行 月1回】
 【学校HPの更新】
 【外部人材活用】
- 学校運営協議会の実施
- 学校評価の実施、活用
 - ・定期的に評価を行い、学校運営の改善と発展
 【保護者・教師アンケート 年2回実施】

＜本年度の組織目標＞ 認められ、励まされ、自己肯定感をもって活躍できる児童の育成